

病害虫防除技術情報第12号

令和4年9月20日
三重県病害虫防除所

**大豆の吸実性カメムシ類の発生が過去10年で3番目に多くなっています。
莢伸長期と子実肥大期の2回防除に努めましょう。**

1. 対象作物： 大豆

2. 対象病害虫名：吸実性カメムシ類（ミナミアオカメムシ、イチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシ）

3. 発生状況

- (1)予察灯（松阪市嬉野川北町）におけるミナミアオカメムシの誘殺数（8月第3半旬～9月第1半旬）は、1,685頭（平年867頭）と過去10年間で3番目に多い状況です（図1）。
- (2)予察灯（松阪市嬉野川北町）におけるホソヘリカメムシの誘殺数（8月第3半旬～9月第1半旬）は、63頭（平年18頭）と過去10年間で最も多い状況です（図2）。
- (3)1か月予報（名古屋地方気象台9月15日発表）によると、気温は高いと予想され、特に期間の前半はかなり高くなると予想されています。そのため、吸実性カメムシ類の活動に好適な状況は続くと予想されます。

4. 防除対策

- (1)本年は、ほ場によりダイズの生育にかなりばらつきがありますが、吸実性カメムシ類については、子実被害を抑制するためには莢伸長期と子実肥大期の2回防除に努めましょう。
- (2)吸実性カメムシ類は移動性が高いため、無人へりなどによる広域一斉防除がより効果的です。

5. その他

(1) 薬剤は三重県農薬情報システム

<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>で検索することができます。

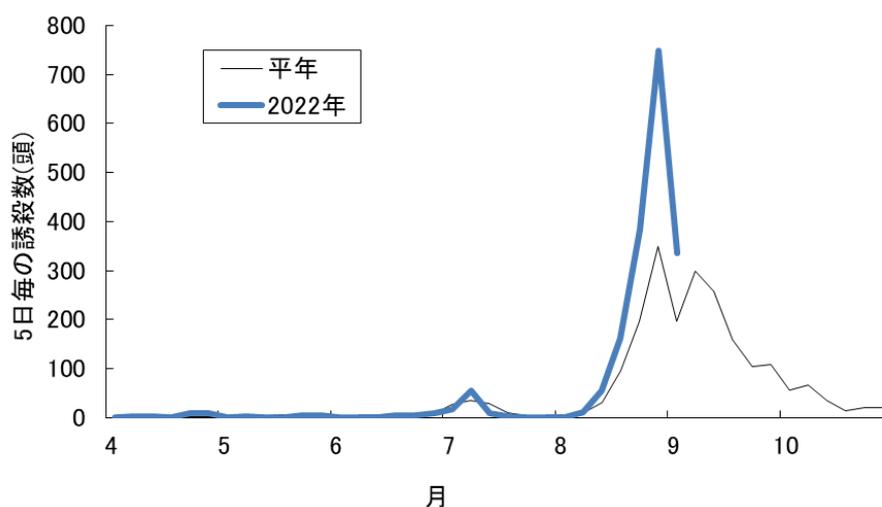


図1 畑地の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 100W水銀灯)

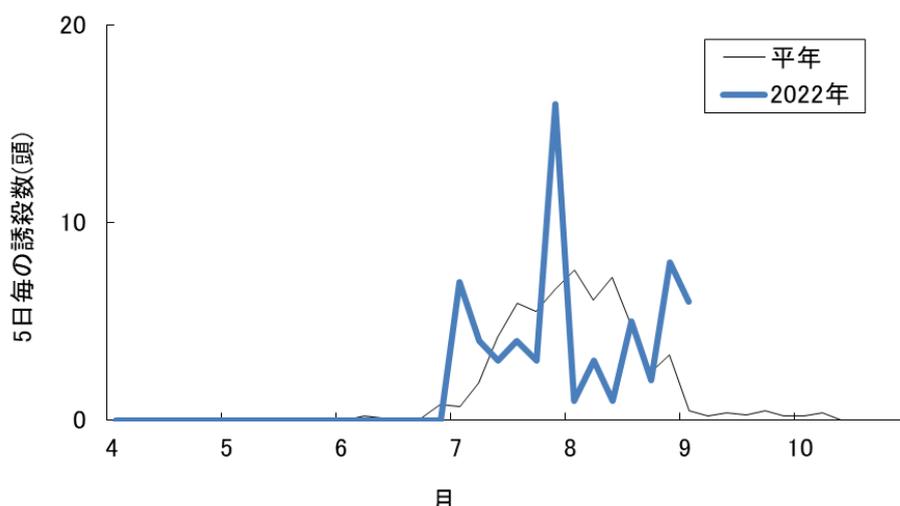


図2 畑地の予察灯におけるホソヘリカメムシの誘殺数
(松阪市嬉野川北町 100W水銀灯)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。